

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部  
(新型インフルエンザ等対策本部)  
知事メッセージ

令和3年9月17日  
青森県危機対策本部

**新型コロナウイルス感染症に係る対応について**

「この秋 最大のコロナ危機 終わらせよう。」

青森県内では、8月以降、帰省等で県外から移動してきた方との接触などにより、感染が急速に拡大しました。感染が御家族、そして、職場や学校、保育施設などへ広がり、さらにその御家族へと連鎖したものもあります。また、高齢者施設などでワクチン接種済みの方々が感染した事例もあります。

緊急対策パッケージの実施から半月が経過し、新規感染症患者はピーク時より減ってきました。しかしながら、依然として職場や学校などでクラスターが頻発しており、また、重症者が徐々に増えるなど、予断を許さない状況にあります。

さらに、週末からは、秋の連休やお彼岸の時期を迎え、再び、人の流れの増加が予想されます。

何としても9月でコロナ危機を終わらせるために、人の流れを抑制し、人同士の接触の機会を減らす必要があります。

感染拡大を抑えるために、ワクチン接種した方を含め、この連休も「普段一緒にいない方」との接触を避けるなど、あらゆる場面で

感染リスクを回避し、これまで以上に慎重な行動と感染防止対策を徹底してください。

また、政府は9月末まで緊急事態措置等を延長しましたので、引き続き、県外との不要不急の往来を控えてください。また、青森県以外にお住まいの方々も本県への旅行や移動を控えてください。

県民の皆様方には、御不便をおかけしておりますが、これまでの御協力に心から感謝いたしますとともに、引き続き、御理解と御協力をお願い申し上げます。

なお、県では、9月に入り、新型コロナウイルス感染症の入院病床を20床追加し、現時点で合計328床を確保したところです。また、宿泊療養施設については、今月中に八戸市で新たに150室を追加することとしており、今後とも、必要な医療提供体制の整備に努めてまいります。

また、ワクチン接種の加速化を図るため、県によるワクチン広域接種を、青森市、弘前市及び八戸市で実施することとしており、9月18日から予約受付を開始します。詳しくは、県庁ホームページ等で御確認ください。

この正念場を乗り越え、県民の皆様方が安心して働き、学び、暮らすことができるよう、引き続き、全力で取り組んでまいります。重ねまして、皆様方のお力添えをお願い申し上げます。